

高 速 電 車 事 業 会 計

1 業務の実績

高速電車事業会計における令和3年度の業務実績は、第1表及び第2表のとおりである。

高速電車事業は、南北線14.3km、東西線20.1km及び東豊線13.6kmの3路線48.0kmで営業しており、当年度の1日平均輸送人員は478,578人で、前年度に比べ7.3%の増加となった。路線別で見ると、南北線、東西線及び東豊線のいずれも増加となっている。また、定員に対する乗車密度である乗車効率については、当年度23.6%となり、前年度から1.6ポイント上昇した。これらは、新型コロナウイルス感染症の影響による外出やイベントの自粛、事業者や学校等の臨時休業実施などが緩和され、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られ始めたことなどが主な要因と考えられる。

5年間の推移をみると、1日平均輸送人員について、平成30年度は増加していたが、令和元年度以降減少し、当年度は増加している。路線別でも全路線で同様の傾向にある。

また、乗車効率についても、平成30年度は増加していたが、令和元年度以降減少し、当年度は増加している。路線別でも全路線でほぼ同様の傾向にある。

第1表 走行キロ・輸送人員の推移

年 度	1日平均 走行キロ数 (km/日)	すう勢 比 率	輸 送 人 員		1日平均営業 1km当たり (人/km・日)	すう勢 比 率	乗車効率 (%)
			1日平均 (人/日)	すう勢 比 率			
29	92,242	100.0	627,831	100.0	13,080	100.0	30.6
30	91,916	99.6	631,179	100.5	13,150	100.5	30.8
元	92,095	99.8	619,971	98.7	12,916	98.7	30.2
2	92,051	99.8	446,091	71.1	9,294	71.1	22.0
3	92,067	99.8	478,578	76.2	9,970	76.2	23.6
対前年度増減	(16)	—	(32,487)	—	(676)	—	(1.6)
増減率	(0.0%)	—	(7.3%)	—	(7.3%)	—	—

(注) 1日平均走行キロ数、1日平均輸送人員及び1日平均営業1km当たり輸送人員の算出に当たっては、30年度は北海道胆振東部地震の影響により終日運休した日数を控除した364日を1年間の営業日数としている。

第2表 路線別輸送人員・乗車効率の推移

年 度	1日平均輸送人員(人/日)			1日平均営業1km当たり輸送人員 (人/km・日)			乗 車 効 率 (%)		
	南 北 線	東 西 線	東 豊 線	南 北 線	東 西 線	東 豊 線	南 北 線	東 西 線	東 豊 線
29	236,548	239,702	151,581	16,542	11,925	11,146	29.5	28.8	37.2
30	236,580	241,846	152,753	16,544	12,032	11,232	29.5	29.1	37.5
元	230,692	239,038	150,241	16,132	11,892	11,047	28.7	28.6	36.9
2	158,799	181,691	105,601	11,105	9,039	7,765	20.5	21.5	26.3
3	170,382	195,485	112,711	11,915	9,726	8,288	21.6	23.3	28.0
対前年度増減	(11,583)	(13,794)	(7,110)	(810)	(687)	(523)	(1.1)	(1.8)	(1.7)
増減率	(7.3%)	(7.6%)	(6.7%)	(7.3%)	(7.6%)	(6.7%)	—	—	—

(注) 1 第1・2表の()内の上段は、対前年度増減数値を、下段は対前年度増減率を表している。

2 乗車効率=乗車密度/平均定員(乗車密度=年間延人キロ/年間走行キロ)

3 1日平均輸送人員及び1日平均営業1km当たり輸送人員の算出に当たっては、30年度は北海道胆振東部地震の影響により終日運休した日数を控除した364日を1年間の営業日数としている。